



参加費無料
事前申込制

こころをつなげて、四国はひとつ

四国遍路を 世界遺産に シンポジウム

オンライン

同時配信

日程 令和8年1月31日(土) 13:30~16:30

会場 ホテルクレメント徳島 4階クレメントホール
(徳島市寺島本町西1丁目61番地)

■基調報告

「四国遍路の文化的価値～大阪から見る「お四国」～」

藪田 貫氏 兵庫県立歴史博物館名誉館長・関西大学名誉教授

■基調講演

「大正時代から現在まで世界から見た四国遍路の魅力について」

モートン 常慈氏 あなぶきトラベルインバウンド課・四国遍路専門家

■パネルディスカッション

「四国遍路の世界遺産登録に向けて」

コーディネーター 大石 雅章氏 鳴門教育大学名誉教授

藪田 貫氏 兵庫県立歴史博物館名誉館長・関西大学名誉教授

パネリスト モートン 常慈氏 あなぶきトラベルインバウンド課・四国遍路専門家

鈴木 地平氏 文化庁文化資源活用課 文化遺産国際協力室文化財調査官

◎主催：四国遍路世界遺産登録推進協議会

◎後援：香川県、高知県、愛媛県、徳島県、香川県教育委員会、高知県教育委員会、愛媛県教育委員会、徳島県教育委員会

◎お問い合わせ：徳島県観光スポーツ文化部 文化資源活用課

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1

TEL：088-621-3164 FAX：088-621-2886 e-mail：bunkashigenkatsuyouka@pref.tokushima.lg.jp



Program

I. 基調報告

「四国遍路の文化的価値 ～大阪から見る「お四国」～」

藪田 貫 氏(やぶた ゆたか)

兵庫県立歴史博物館名誉館長
関西大学名誉教授

専門は日本史学、とくに江戸時代の社会史・女性史。大阪を中心に複数の自治体史編さんに関わる。徳島県の阿波遍路道・札所寺院保存検討委員を務めるほか、兵庫県立歴史博物館長として、世界遺産登録をめざす「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクトに関わってきた。著書に『大阪遺産』(清文堂出版)・『大塩平八郎の乱』(中公新書)など。



II. 基調講演

「大正時代から現在まで 世界から見た四国遍路の 魅力について」

モートン 常慈 氏(モートン じょうじ)

あなぶきトラベルインバウンド課
四国遍路専門家

1969年カナダ生まれ。1988年の初来日より日本文化に魅せられ、1993年に立命館大学の交換留学生となり、京都・大徳寺で住み込みを体験。2001年にプリティッシュ・コロンビア大学大学院東洋学部修士課程修了。1999年から「外国人と四国遍路の歴史」と「四国のインバウンド観光の歴史」などをテーマに研究。四国遍路についての多数の出版物やテレビ・ラジオ番組の出演など、様々な活動を通して、日本だけでなく世界中に四国遍路の魅力を発信する活動を行っている。



III. パネルディスカッション

「四国遍路の世界遺産登録 に向けて」

コーディネーター

大石 雅章 氏(おおいし まさあき)

鳴門教育大学名誉教授

専門は日本中世史。鳴門教育大学大学院教授、同大学理事・副学長を経て2023年に退職。在職中に四国遍路を活用した教育実践を行い、現在は阿波遍路道・札所寺院保存検討委員会委員長などを務める。著書に『日本中世社会と寺院』(清文堂出版)などがある。



パネリスト

藪田 貫 氏

兵庫県立歴史博物館名誉館長
関西大学名誉教授

モートン 常慈 氏

あなぶきトラベルインバウンド課
四国遍路専門家

鈴木 地平 氏(すずき ちへい)

文化庁文化資源活用課
文化遺産国際協力室文化財調査官

1980年京都市生まれ、滋賀県出身。京都大学文学部(地理学)、京都大学大学院文学研究科(地理学)を経て、2005年文化庁技官(文化的景観)。2015年より現職。博士(地域政策学)。専門は歴史地理学、文化遺産とまちづくり。約10年間、榎原の棚田及び農村景観(徳島県上勝町)など全国の文化的景観の保存・活用に従事したあと、現在は世界遺産担当として佐渡島の金山、紀伊山地の霊場と参詣道など国内の世界文化遺産の保全に携わる。主な著作に『Routledge Handbook of Sustainable Heritage』、『世界遺産の日本史』(いずれも分担執筆)など。



申込方法

募集期間: 令和7年12月22日(月)～令和8年1月28日(水)

電話、FAX、メールのいずれかで下記の問い合わせ先に申込み、
もしくは「徳島県電子申請・届出システム」(二次元バーコード)より申込み

会場申込用



オンライン申込用



※必要事項…氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレス

※現地会場は先着順です(定員に達し次第終了)。

会場アクセス(ホテルクレメント徳島)

